

スマホお教えします

スマートフォンやタブレットを持っているけど、使い方が良くわからない…。そんな方に、善称寺スタッフが、ユーチューブでの「お朝事(朝のお勤め)」や「合同法要」の視聴方法を直接お教えいたします。無料です。

スマートフォン・タブレット・ノートパソコンを持って直接お寺までお越しください。「お朝事」「合同法要」以外の事を教えて欲しい場合は事前に日時を指定して予約をしてください。



各種 SNS にて
お寺の日常を発信しています

住職と森嶋が日々の出来事をお知らせしています。

ユーチューブにて
「お朝事」ライブ
配信中



Instagram



フェイスブック



ツイッター



ライン



ユーチューブ

ないということも、改めてお伝えしておきます。
それでは、七き人を偲ぶよすがは何もないのかというところ、そうではありません。過去帳(かこちょう)か、法名軸(ほうみやうじく)をお使いください。過去帳は、先祖の記録帳のようなもので、七き人の法名、俗名、ご命日、七きなられた年齢などを記しておきます。命日や法事の時に過去帳を置く場合は台に載せて開き、御本尊の妨げとならないようにお仏壇の中段脇か、下段に置きます。もちろん、過去帳の前にはお水や食物などは供えません。

また法名軸はお仏壇の側板に掛けるようにします。過去帳(や法名軸)は仏具店で購入できます。書き方に厳密な取り決めはありませんし、どなたが書かれてもかまいません。後々までわかりやすいようにご家族で記入なさってください。お寺に依頼される場合は、こちらで用意してある過去帳に記入させていただきます。詳細はお問い合わせください。
ところで、浄土真宗では位牌は用いないといえ、お葬式などの時には法名を記した白木の位牌を祭壇の前に安置することが

ペットのおほか



ペットの墓ができました。以前から「うちの子が死んだらどうなるの?」とよく聞かれていたのです。大切な家族だから家のお墓に納骨してあげたいけれど、墓地はみんなで使用しているのでちょっと難しい。せめて同じ境内に納骨できる場所があれば、ということで作りました。

お墓の上の植栽は、阿弥陀仏の極楽浄土が表現されていて、寺オトコの自信作です。倶会一処の言葉どおり、「お浄土でまた会おうね」の気持ちを込めてお念仏できる場所です。



詳しくは境内に設置しているパンフレット「ペットのおほか」をご覧ください

おしえて! 和尚!

仏事Q&A



第4回

位牌はいつまでに
作ればいいのでしょうか?

しつもん



浄土真宗では
位牌は用いません。

ご先祖や七き人を偲ぶには
過去帳や法名軸を使います。

こたえ



参考文献 浄土真宗 新・仏事のいろは 本願寺出版社

皆様からよく寄せられる「仏事、こんな時はどうすれば?」というご質問について、なるべくわかりやすくお答えしていく不定期のコーナーです

「位牌」とは、中国の儒教(孔子を祖とする教え)の儀礼で用いられていた七き人の生存中の官位と姓名を書きつけた木札で、そこに神霊が宿ると信じられていました。やがて日本の祖先崇拜と結びついて広まり、「位牌+お仏壇=死者の霊をまつるところ」というイメージが定着していきました。
お仏壇の中に先祖代々の位牌が並び、それぞれにお飯やお水が供えられていて、肝心の御本尊が隠れてしまっている…ということがままあります。お仏壇は阿弥陀様をご安置するところであり、死者の霊をまつるところでは

多いです。こちらの位牌については、お葬式、あるいは四十九日がすぎれば、お寺で引き取り処分させていただきますのでお申し出ください。

過去帳の記入例



亡くなった日は記載
上の部分に

亡くなった年・月

法名

俗名と亡くなった年齢

毛筆や竹筆ペンでなくてもかまいません